YAMAHA

漢字住所録

YRM-16 KANJI DIRECTORY 取扱説明書

NIPPON GAKKI CO., LTD.

はじめに

ヤマハMSX漢字住所録カートリッジ(YRM-16)は、ヤマハMSX漢字ワープロユニット(SKW-01) と共に接続することにより、漢字を使って住所録を作ることができます。

○住所録の項目は次のとおりです。

郵便番号
住所
氏名および氏名のフリガナ
電話番号
メモ1、メモ2
分類コード

○漢字、特殊文字、熟語、外字の使い方は漢字ワープロユニットと同じです。

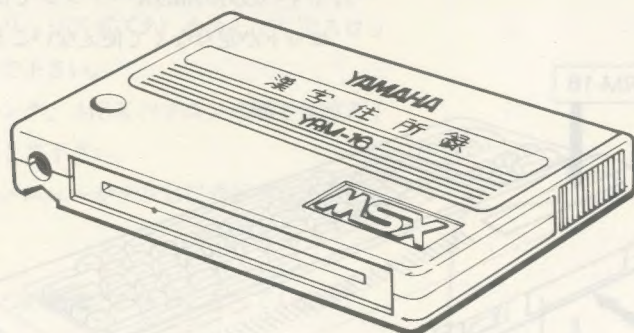
○葉書(縦・横)、宛名ラベル、一覧表、情報カードなどを印刷することができます。

○住所録の並べかえや検索ができます。

目次

1 機能の概要

1 仕　様

文字変換…………………	漢字ワープロユニット(SKW-01)に同じ		
1回の登録可能件数…	128件(RAM32K)　42件(RAM16K)		
登録可能項目…………	郵便番号	英数カナ	6文字以内
	住所	漢字可	39　〃
	氏名フリガナ	英数カナ	15　〃
	氏名	漢字可	8　〃
	電話番号	英数カナ	14　〃
	メモ1	漢字可	13　〃
	メモ2	〃	13　〃
	分類コード	英数カナ	2　〃
並べかえ…………………	各項目毎の昇順、降順およびその複合		
検索………………………	各項目の文字(複数)の検索		
プリンタ…………………	漢字ワープロユニット(SKW-01)に接続可能な機種		
印刷種類…………………	一覧表(A4,B5)		
	リスト(A4,B5)		
	宛名ラベル(市販のタック紙)		
	葉書(横,縦)		
	情報カード(名刺サイズ)		
保存媒体…………………	カセットテープ又はデータメモリカートリッジ		

YRM-16 漢字住所録プログラムカートリッジ

2 機器の接続

必要機器

（漢字ワープロの機器プラス1つのカートリッジスロット）

●YRM-16漢字住所録プログラムカートリッジ

●ヤマハMSX漢字ワープロシステム（SKW-01の取説を参照して下さい）

☆MSXパソコン（RAM16KB以上でカートリッジスロットが2個以上あるもの）

☆SKW-01漢字ワープロユニット

ヤマハ以外のMSXパソコンにはUCN-01ユニットコネクタが必要です。

☆プリンタ（PN-01などSKW-01に接続可能な機種）

☆テレビ

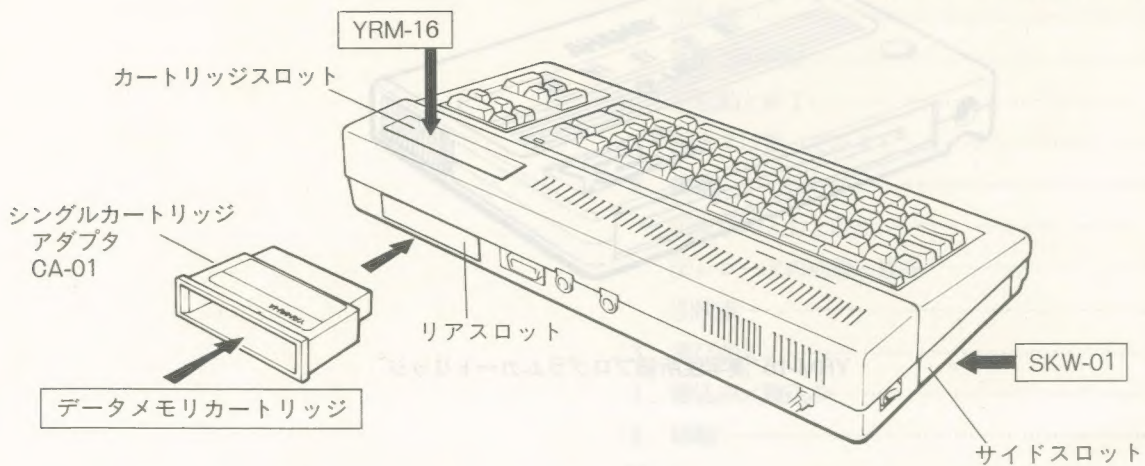
☆データレコーダ（カセットテープレコーダ）

●UDC-01データメモリカートリッジ（オプション）

データメモリカートリッジを使うには

☆ヤマハYIS503, CX-5, CX-5FではCA-01シングルカートリッジアダプタが必要です。

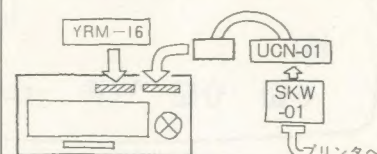
☆ヤマハYIS303ではリアスロットが無いため使えません。

☆ヤマハ以外のMSXパソコンではカートリッジスロットが足りなくて使えないことがあります。

3 起動と終了

起動

〔操作手順〕

(1)機器の接続を確認して下さい。

●ヤマハ以外のMSXパソコンとSKW－01の接続にはヤマハのユニットコネクタ(UCN－01) を介してカートリッジスロットへ接続して下さい。

カートリッジスロットが2つないとYRM－16は使えません。

①SKW－01(漢字ワープロユニット)をMSX パソコンに接続して下さい。

②SKW－01にプリンタを接続して下さい。

③YRM－16をカートリッジスロットに差し込んで下さい。

④YIS503, CX－5, CX－5FにUDC－01 (データメモリカートリッジ) を接続するにはCA－01 (シングルカートリッジアダプタ) を介してリアスロットに差し込んで下さい。

⑤テレビ、プリンタ、 MSXパソコンの順で電源スイッチをONにして下さい。

漢字住所録のメニューがテレビに表示されます。

漢字住所録の4つの機能への入口となっています。

メニュー画面

住 所 録

1　編 集
2　並べかえ
3　印 刷
4　書込み／読込み

番号を入力して下さい

(C) 1984 YAMAHA

〔操作法〕

メニュー画面の機能の番号を数字でキーインして下さい。各々の機能の画面に変わります。

数字キー (1～4) の代わりに、ファンクションキー (F 1～F 4) でも同じ結果になります。

編集画面

4 まずは使ってみましょう

住所録を1件登録します。ローマ字入力でやってみます。

〔操作〕

前ページの様に起動がされてメニュー画面が出ている状態で1編集を選択しましょう。

①**1をキーイン**

左の編集画面に変わります。カーソルは〒の左端にあります。

②**1 2 3** ⏎

郵便番号が１２３になりました。

③ ⏎

住所の入力域にカーソルが移りました。

住所にはワープロ機能が使えます。

④**YAMA** [スペースバー]

画面下部に示された漢字の中から山を選びます。

⑤**1**

⑥**NAKA** [スペースバー] **1**

中が入りました。

⑦**MATI** [スペースバー] **1**

山中町までできました。行をかえます。

⑧ ⬇

英字を使うために画面左下の「ろ」を「R」に かえます。

⑨ [F I] **を何回か押して下さい。**

「R」になりましたか

⑩**MSX**

片仮名を打つために「R」を「ロ」にかえます。

⑪ [F I] を何回か押して下さい。

「ロ」になりましたか

⑫**PURA－ZA** ⏎ ⬇ **4－5** ⏎

住所ができました。(－は[ー]のキーです)

⑬ ⏎

フリガナにカーソルが移りました。

⑭**HAYASI** [INS] **MORIKI** ⏎⏎

片仮名でフリガナが入り、氏名にカーソルが移りました。

〒 １２３ 1
住所山中町
ＭＳＸプラーザ
４－５
フリガナ
氏名
1件
[ロ] メニュー ジャンプ

⑮HAYA [スペースバー] 3 [INS] [↵]
MORI [スペースバー] 1
JU [スペースバー] 3 [↵]
林　森樹ができてカーソルは次の電話番号に移りました。

⑯12−345−6789 [↵]
右の画面の様になりましたか？

（失敗した方はカーソルキー⬆⬇で訂正したい項目に移動してカーソルキー➡⬅で訂正したい文字にカーソルを合わせ、文字を打ち直して下さい。
必要に応じて [BS] キー、[DEL] キー、[ESC] キーを使って下さい。）

右の画面を出して続きを入れましょう。

⑰ [↵] 又は ⬇ を押して下さい。

⑱**カーソルキー ⬇⬆ でメモ1にカーソルを合わせて下さい。**

⑲ **[F1] を何回か押して画面左下の入力モード表示を「R」にして下さい。**

⑳ABC [↵] SHOU [スペースバー]
⬇ 6 JI [スペースバー] 1
続いて特殊文字㈱を入れます。

㉑T5 [スペースバー]
つづいてカーソルキー⬇を押すと右の画面になります。

㉒**Aをキーイン**
㈱が入りました。

㉓ [↵][↵]
メモ2をとびこえて分類に移りました。

㉔S 1 [↵]
これで1件の登録が完了です。

㉕**カーソルキー ⬇⬆ で打ち込んだ項目総てをながめて下さい。**
次のレコードを更に登録するには [F5] を押して下さい。
画面右上のレコード番号が1つ進んで①の画面になります。
[F4] を押すと1つ前のレコードに戻ります。

㉖ **[F2] を押して下さい。**
メニュー画面に戻ります。

〒 [１２３]　1
住所 [山中町　ＭＳＸプラーザ　４−５]
フリガナ [ハヤシ モリキ]
氏名 [林　森樹]
☎ [12-345-6789]　1件
[R]　メニュー　ジャンプ　⬚⇧　⬚⇩

フリガナ [ハヤシ モリキ]　1
氏名 [林　森樹]
☎ [12-345-6789]
メモ1 [ ]
メモ2 [ ]
分類 [ ]
1件
[ろ]　メニュー　ジャンプ　⬚⇧　⬚⇩

フリガナ [ハヤシ モリキ]　1
氏名 [林　森樹]
☎ [12-345-6789]
メモ1 [ＡＢＣ商事Ｔ５]
メモ2 [ ]
分類 [ ]
1件
1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
" No. KK TEL ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ 明治 大正 昭和

フリガナ [ハヤシ モリキ]　1
氏名 [林　森樹]
☎ [12-345-6789]
メモ1 [ＡＢＣ商事㈱]
メモ2 [ ]
分類 [Ｓ１]
1件
[R]　メニュー　ジャンプ　⬚⇧　⬚⇩

2 編集

漢字変換などの操作方法は、漢字ワープロユニットの操作に同じです。
当取説は漢字ワープロユニットの操作を理解されている方を前提に説明しています。
漢字ワープロの操作法はSKW−01取扱説明書 をご覧下さい。
メニュー画面で1．**編集**を選択すると編集画面に変わります。

(1)編集画面は次の様な目的に使います

①住所録を登録する

即ち、キーボードから郵便番号、住所、氏名およびふりがな、電話番号、その他の記述（メモ1およびメモ2）、分類コードの内の必要とする項目を入力することにより登録されます。

漢字ワープロと同様の操作で漢字、特殊文字、熟語外字への変換ができます。(ワープロ機能)

128名(RAM 32KB) まで登録可能です。

②住所録を訂正する

即ち、住所変更など登録済の項目を修正する。また不要になった記録を削除する時に使います。

③住所録の中から特定の記録を検索する。

例えば、ある人の電話番号をしらべたいとか特定の地域の人を捜し出したい時とか、住所録を訂正するためにある人を捜したい時などに使います。

(2)編集画面の説明

Ⓐには郵便番号を打ち込んで下さい。

Ⓑには住所を打ち込んで下さい。13文字×3行の39文字まで入れることができます。ワープロ機能が働らきます。

Ⓒには氏名のふりがなを入れることができます。

Ⓓには氏名を入れて下さい。ワープロ機能を使えます。

Ⓔには電話番号を入れて下さい。

ⒻとⒼには必要に応じてメモ書きを打ち込んで下さい。ワープロ機能を利用できます。

Ⓗには必要ならば分類コードを入れて下さい。(英・数・カタカナ)

例えば仕事上のつきあいはSI、遊び友達はAなど
2桁以内の文字や数字で識別して下さい。

①はレコード番号です。メニューから入って来ると最初は1番のレコードが表示されます。

レコード番号とは……

住所録1件1件の記録場所を番号で表わしたものです。番号の小さい順に、画面に表示したりプリントしたり、カセットテープに保存したりします。並びかえをするとレコード番号が変わります。

〒　1
住所
フリガナ
氏名
☎　0件
[ろ]　メニュー　ジャンプ　⇧　⇩
F1　F2　F3　F4　F5

SHIFT を押すと下の様に変わります。

[ろ]　複写　削除　検索　続行
F6　F7　F8　F9　F10

1 文字の入力と訂正

(1)文字の打ち込み

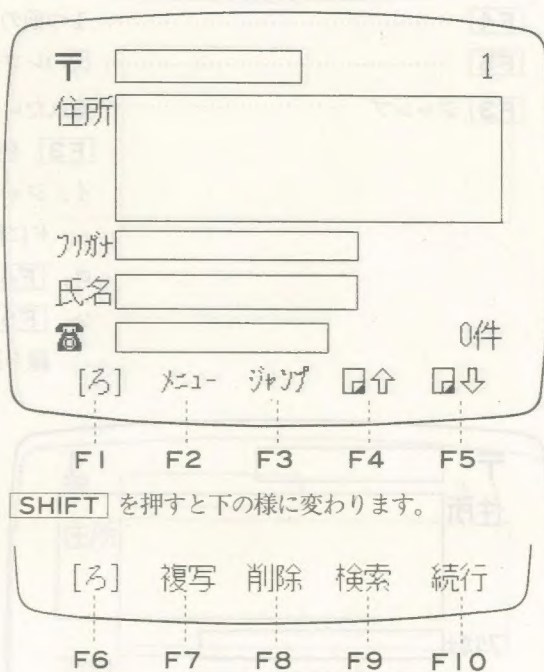
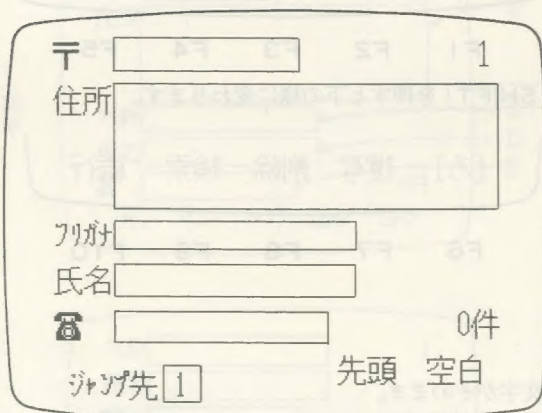
キーボードから打ち込んだ文字は、赤いカーソルの位置に青枠つきで入ります。(ワープロでは白枠つきでした)
漢字変換の働らかない項目（〒、フリガナ、電話番号分類）については ⏎ を押すことによって青枠が消え、次の項目に進めます。一方漢字変換のできる項目（住所、氏名、メモ1、メモ2）には漢字ワープロ同様の操作で漢字、特殊文字、熟語、外字変換をして下さい。
読みを打ち込んで ⏎ は無変換、 スペースバー は変換です。

（詳細はもう一度SKW－01取扱説明書をご覧下さい）

(2)編集画面下段は F1 キーから F5 キーの機能を示しています。F1 キーはこれも漢字ワープロユニットと同じく かな キーとの組み合わせで5種類の入力方式を示しています。

〔R〕…ROMA字　キーボードのアルファベット、数字、特殊文字がそのまま。
〔ろ〕…ろーま字　アルファベットをローマ字とみなし、ひらがなに変換
〔ロ〕…ローマ字　アルファベットをローマ字とみなし、カタカナに変換

かな キーを押すと次の2種類になります。

かな…ひらがな　カナがひらがな表示されます。
カナ…カタカナ　カナがカタカナ表示されます。

(3)編集用のキー

BS 、 DEL 、 ESC ………… 入力中、入力済の文字を訂正する時に使います。

CTRL ＋E …………………………… カーソルのある項目の文字すべてを消去できます。

F6 （ SHIFT ＋ F1 ） ………… 挿入モードになります。青枠内(入力中)には挿入できません。
漢字ワープロのＦ６と同じ機能です。

(4)スクロール用のキー

カーソルキー ⬇⬆ ………………… 項目内の行移動又は項目間の移動ができます。

⏎ ……………………………………… 次の項目への移動にも使えます。

CTRL ＋⬇又は⬆ ………………… 画面の前半、後半の移動又はレコード間の移動ができます。

F4 ……………………………………… １つ前のレコードへ移動します。

F5 ……………………………………… 次のレコードへ移動します。

F3 ジャンプ ……………………… 離れたレコードに移動できます。次の３つの方法があります。

F3 を押すと、画面下部が下図の様に変わります。

イ．ジャンプ先に数字を打ちこんで ⏎ を押すとそのレコードに移動します。

ロ．F4 を押すと第１レコードに移動します。

ハ．F5 を押すと最初の空白レコードに移動します。住所録を追加する時に使えます。

F2 メニュー画面に戻ります。

ご注意

当取説のキー操作の説明文で CTRL ＋Eの様にプラス記号を使っている時は、あるキーを押しながら別のキーを押すことを意味します。

従って CTRL ＋Eとは CTRL キーを押しながらEを押すことです。

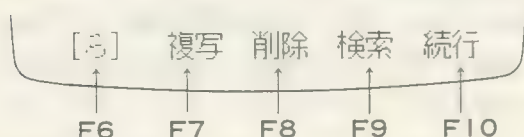
2 レコードの削除と複写

不要になったレコードを削除したり、削除したレコードを別のレコード番号へ複写することができます。漢字ワープロのハサミとセロテーフの機能と同様です。

(1)削除

〔操作〕

①削除したいレコードを編集画面に呼び出して下さい。

② SHIFT を押したまま画面下部を見て下さい。
下の様になります。

削除は F8 です。

③ F8 を押して下さい。(SHIFT ＋ F3)
画面右下に確認Yと表示されます。

④ ESC を押せば削除されず①に戻ります。
⏎ を押せばこのレコードは削除され空になります。

(2)複写

(1)で削除したレコードの内容をもう一度編集画面に入れることができます。レコード全体でも項目単位にもできます。

〔操作〕

①データを入れたいレコードを画面に呼び出して下さい。

② F7 を押して下さい。(SHIFT ＋ F2)
画面右下に確認Yと表示されます。

③ ESC を押せば複写は行なわれず①に戻ります。
⏎ を押せば直前に削除を行なったレコードの内容が複写されます。

項目単位の複写は②の操作に於て CTRL ＋O（オー） を押すとカーソルのある項目だけが複写されます。この時は確認Yの表示は出ませんから御注意下さい。

〒 123　　3
住所 東京都　台東区
上野動物園
フリガナ
氏名 パンダ
☎ 03-456-7890　　1件
[R]　メニュー　ジャンプ

〒　　3
住所
フリガナ
氏名
☎　　0件
[R]　メニュー　ジャンプ

〒　　11
住所
フリガナ
氏名
☎　　0件
確認：Y

〒 123　　11
住所 東京都　台東区
上野動物園
フリガナ
氏名 パンダ
☎ 03-456-7890　　1件
[R]　メニュー　ジャンプ

3 検索

検索は住所録の中から特定の文字を持ったレコードを捜し出して編集画面に表示します。

〔操作〕

①編集画面に出ているレコード番号以降を捜しますから、全レコードを捜したい時は F3 (ジャンプ)を押し次に F4 (先頭)を押して第1レコードを出しておいて下さい。

② F9 (SHIFT ＋ F4)を押すと左のグリーンの画面に変わります。

③カーソルキー ⬇⬆ で検索したい項目にカーソルを移動し、キーワード(検索したい文字)を打ち込んで下さい。

(住所、氏名、メモ1、メモ2 には漢字も入れられます。) 複数項目にキーワードを打ち込んでも構いませんがその時はカーソルがある項目について検索をします。

④ F5 を押すと検索を開始します。レコードがみつかればそのレコードを表示します。先を検索したい時は F10 (SHIFT ＋ F5)を押して下さい。

レコードがみつからなければ画面左下に該当なしのメッセージが出ます。

検索画面

左の例は

氏名に後藤という文字を持っている人を捜しています。もし住所録に次の様な人がいれば検索(F 9)および検索続行(F10)で次々とみつかります。

氏　名

後藤忠了

後藤　昇

後藤田かおり

3 並びかえ

メニュー画面で**2並べかえ**を選択すると右の様な**並べかえ画面**に変わります。

並べかえ画面

Ⓐの部分に並べかえのキーを指定します。

(1)カーソル⬆⬇でキー項目を選んで**選択**(F 3)を押せば選んだ順に番号がつきます。

既に選択されている項目をカーソル⬇⬆で選んで F3 を押すと選択が取り消されます。

(2)選択された項目は昇順(小さい順)になっていますが F4 (昇・降)を押すことによってカーソル位置の項目を降順(大きい順)に変えることができます。F4 は押す毎に昇順、降順と変わります。

Ⓑの部分は住所録の登録済件数を表示しています。

F5 (開始)を押すと並べかえが始まり、終了するとメニュー画面に戻ります。

右の画面の例は、分類コードの大きい順（但し同じ分類コードのデータについては郵便番号の小さい順）に並べかえる様に指定をしたところです。

〔操作法〕

①**カーソルキー⬇で分類にカーソルを合わせて F3 キーを押して下さい。**

これにより 分類　1　昇順 になります。

②**F4 キーを押して下さい。**

分類　1　降順 に変わります。

③**カーソルキー⬆で〒にカーソルを合わせて F3 キーを押して下さい。**

右図の様になります。

④**F5 (開始)キーを押せば並びかえ処理が始まります。**数秒で終了します。

CTRL ＋Eを開始前に行なうと、項目の選択を取り消すことができます。

4書込み／読込み

メニュー画面で **4書込み／読込み**を選択すると**書込み／読込み画面**に変わります。

住所録をカセットテープやデータメモリカートリッジに保存（SAVE）と読み込み（LOAD）ができます。

書込み／読込み画面

書き込み必須はⒶとⒷ

読み込み必須はⒷ

Ⓐカセットテープやデータメモリカートリッジに保存する項目を指定します。**カーソルキー⬇⬆で選んで [F3] を押すと赤い色が消えます。**赤い状態が選ばれた状態です。**[CTRL]＋Eでクリアできます。**
読込み（LOAD）の時はⒶは指定する必要はありません。
[↵] するとカーソルはⒷに移ります。

Ⓑカセットに書込み
カセットから読込み
カートリッジに書込み
カートリッジから書込み
の4種のいずれかを**カーソルキー➡⬅で選択して下さい。**
[↵] 又はカーソルキー⬇で次のⒸに移ります。

Ⓒ**カセット又はカートリッジに書込む時にここに標題を打ち込んで下さい。**漢字変換もできます。
（一方カセット又はカートリッジから**読込む**時は、保存されている標題が表示されます。）
[↵] 又はカーソルキー⬇でⒹに移ります。

Ⓓ書込む時に当日の年月日を数字で打ち込んでおくと良いでしょう。
カーソルキー➡で年から月、日と移動します。
[↵] 又はカーソルキー⬇でⒺに移ります。

Ⓔ書込み／読込みする**レコード番号の範囲**です。※注
数字をキーインして [↵] して下さい。

Ⓕカートリッジに書込む時、分類コード（2ケタ）を指定できます。「全」とは総てのレコードを対象にするということです。
赤いカーソルが「全」の位置にある時カーソルキー➡を押すと「全」が＝≒〉〈と変わります。この＝≒〉〈と分類コードを指定すれば該当レコードが書込みされます。

例：今分類コードが ␣1 と 1␣ のレコードがある時
＝1␣ とすれば，␣1と 1␣ の両方
＝␣1 とすれば，␣1だけ
が該当レコードとなります。

[F5]〈開始〉を押すと処理が始まります。

レコード番号範囲指定

1 カセットテープ又はカートリッジに書込みの時指定する範囲のレコードのみを書込みます

(2)カセットテープ又はカートリッジから読込みの時指定する番号のレコードが、読込まれたレコードに変わります。

(3)応用例

レコード番号範囲指定を利用すると、次の様なことが可能です。

イ．住所録を２巻のカセットテープに分けてSAVEする。

①並びかえをして分割したいレコード番号をしらべる。

②前半、後半の２回に分けて(1)を行なう。

ロ．２巻のカセットテープの特定の分類コードのデータを１巻にまとめる。

①まとめたい分類コード以外のレコードを削除して、カセットテープに、SAVEする。これを２巻について各々行なう。

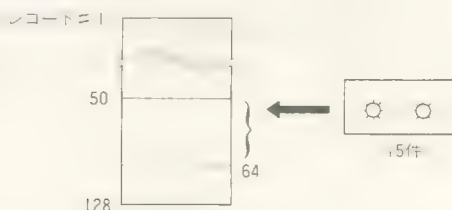
②一方のカセットテープをLOADする。

③最終レコードの次からもう一巻をLOADする。

④別のカセットテープにSAVEする。

CTRL ＋ STOP を押すとカセットテープの読み書きが中断します。

例えば30〜70と指定すれば

レコード#30から70までの41件がSAVEされます。

例えば50〜128と指定すれば

カセットテープに15件のレコードがSAVEされていたとすれば50番から64番めのレコードに被さります。

5 印刷

メニュー画面で 3 **印刷**を選択すると右の**印刷画面**に変わります。

Ⓐには印刷したい項目を指定します。

カーソル⬇⬆で項目を選んで [F3] (選択)を押すと＊が番号に変わります。この番号の順に項目が（左から右又は上から下に）並びます。

[F3] は選択されている項目に対して押すと選択の取り消しになります。

[⏎] でⒷに移ります。

[F4] を押すとカーソルのある項目が太い数字に変わります。拡大文字でプリントされます。もう一度押すと普通サイズの文字になります。

[CTRL] ＋Eで指定をクリアできます。

Ⓑには印刷の種類を指定します。

一覧表(A 4) 一覧表(B 5) リスト(A 4) リスト(B 5) ラベル ※注 葉書(横) 葉書(縦) 情報カード	**カーソルキー➡で 8 種類の中から 1 種選んで [⏎] 又はカーソルキーを押して下さい。** **Ⓒに移ります。**

Ⓒカーソルキー➡で横書きと縦書きが選べます。

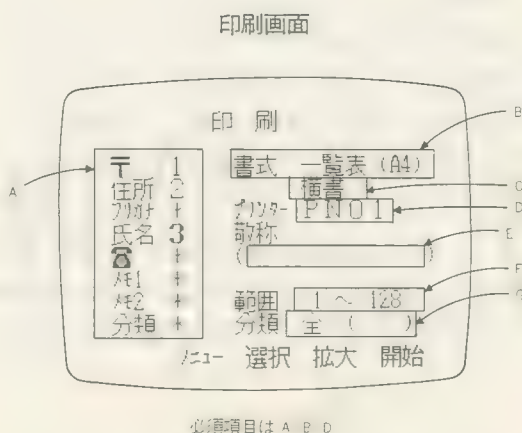
[⏎] 又はカーソルキー ⬇ でⒹに移ります。

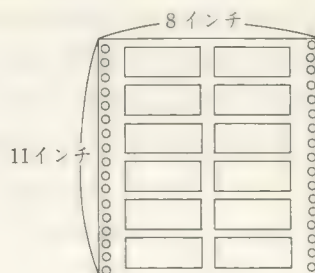
Ⓓフリンタ機種を指定します。

カーソルキー ➡ で次の機種の中から選んで [⏎] 又は ⬇ して下さい。

- PN−01
- HR−5 X
- PC8023
- CF2301
- PC8822
- その他NEC系
- PR80系

印刷画面

必須項目は A B D

※注

宛名ラベルは下記サイズの市販品をお買求め下さい。

Ⓔ氏名に敬称を付けたい時に敬称を打ち込んで下さい。

漢字変換も可能です。

例：「様」を氏名の次につけるには

SAMA [スペースバー] 1

[⏎] 又は ⬇ を押すとⒻに移ります。

Ⓕ印刷するレコード番号の範囲を数字で打ち込んで下さい。

[⏎] 又は ⬇ でⒼに移ります。

例：5～5……5番めのレコードだけを印刷

Ⓖ印刷するデータの分類コードを指定できます。

「全」は全部のレコードを印刷対象とします。

カーソル ⬇ で=≒〉くを選択し [⏎] 又は ⬇ を押して

（ ）の中に分類コードを打ち込んで下さい。

ⒻとⒼはANDの関係です。

[F5]（開始）を押すと印刷が始まります。

印刷を中断するには [ESC] 又は [CTRL] ＋

[STOP] を押して下さい。

ご注意

[CTRL] ＋／で各画面のハードコピーをプリントすることができます。

ハードコピーの中断は [CTRL] ＋ [STOP] です。

附録

キーの使い方一覧

キー＼画面	編集	並べかえ	印刷	書込み／読込み
ESC	入力した文字（青色）のとりけし。 １つ前の処理に戻る	１つ前の処理に戻る メニューに戻る	１つ前の処理に戻る メニューに戻る	１つ前の処理に戻る メニューに戻る
CTRL	CTRL ＋E、CTRL ＋O CTRL ＋ ⬇⬆	CTRL ＋E	CTRL ＋E CTRL ＋ STOP	CTRL ＋E CTRL ＋ STOP
CAPS	大文字／小文字		敬称	タイトル
スペース	スペース文字 漢字変換		スペース 敬称漢字変換	スペース タイトル漢字変換
STOP			CTRL ＋ STOP	CTRL ＋ STOP
INS	スペース		敬称スペース	タイトルスペース
DEL	文字の削除			
BS	文字の削除			
SELECT	無変換		敬称無変換	タイトル無変換
⬆⬇⬅➡	文字の入力位置移動	項目の選択	項目の選択	項目の選択
⏎	項目の選択 無変換 検索開始	項目の選択	項目の選択 敬称無変換	項目の選択 タイトル無変換
かな	かな入力/ローマ字入力		かな入力/ローマ字入力	かな入力/ローマ字入力
F1	入力モード		入力モード	入力モード
F2	メニューへ	メニューへ	メニューへ	メニューへ
F3	ジャンプ	項目指定	項目指定	項目指定
F4	前のレコードへ	昇順、降順	拡大文字	
F5	次のレコードへ	処理開始	印刷開始	読み書き開始
F6	挿入モード			
F7	複写			
F8	削除			
F9	検索			
F10	検索続行			

TAB　HOME　GRAPH　の各キーは使えません。

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼・お問合せは、お買い上げ店、またはYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお願い致します。

■持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。（裏面サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

■コンピューターの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、コンピューターの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は背面パネルに表示してあります。

■MSXに関するお問い合わせ

ヤマハMSXインフォメーションセンター
東京（03）575-0277
大阪（06）251-0535

〈キ リ ト リ 線〉

保証規定

保証期間はお買上日より１年間です。保証期間中、万一品質及び製造上の不備による故障が発生した場合には、お買上げの販売店(修理申出先)が責任を持って無料修理又は交換致します。

保証書のご使用法

○保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買上げの販売店(修理申出先)に保証書を添えてお持ちください。

保証期間中でも次の場合は有料となります。

○取扱い不適当による故障あるいは損傷の場合。
○故障の原因が本製品以外の機器あるいは他の要因(アンテナ、電波、設置場所)により正常な動作をしない場合。
○弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、その修理改造が不適当であった場合。
○部品の消耗、取扱いミスによる損傷の場合。
○火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異常による故障、損傷の場合。
○鼠害、塩害等で故障が生じた場合。
○本書にお買上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書替えられた場合。
○本書のない場合。又、ご提示のない場合。尚本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

転居の場合等

○転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げ販売店(修理申出先)に修理をご依頼できない場合には、最寄の日本楽器製造㈱お客様ご相談窓口にお問い合せください。
○本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only within Japan.
○保証期間の１ケ年を過ぎても、サービスは有料にて責任を持って実施させて頂きます。
○修理は、お買上げの販売店(修理申出先)へお持ちください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理又は交換をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店もしくは日本楽器製造㈱お客様ご相談窓口にご相談ください。

修理メモ	
・　・	
・　・	
・　・	
・　・	

住　所	TEL (　　)
販売店名	扱者名

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

〔修理受付および修理品お預り〕

東京電音サービスセンター　〒211 川崎市中原区木月1184
TEL.(044)434－3100

新潟電音サービスステーション　〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL.(0252)43－4321

大阪電音サービスセンター　〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL.(06)877－5262

四国電音サービスステーション　〒760 高松市丸亀町8-7（日本楽器 高松店内）
TEL.(0878)51－7777・22－3045

名古屋電音サービスセンター　〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
（日本楽器名古屋流通センター）
TEL.(052)652－2230

九州電音サービスセンター　〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.(092)472－2134

北海道電音サービスセンター　〒065 札幌市東区本町１条9-3
TEL.(011)781－3621

仙台電音サービスセンター　〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共配送センター3F
TEL (0222)96－0249

広島電音サービスセンター　〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3
TEL.(082)874－3787

浜松電音サービスセンター　〒432 浜松市東伊場2-13-12
TEL.(0534)56－9211

本社
営業技術課
電音サービスセンター　〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.(0534)65－1111

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

〈キ　リ　ト　リ　線〉

漢字住所録

お客様へ

保証書に所定事項が記入されていない場合は無効となりますので、必ずお買上げ店にて記入して頂いてください。

販売店様へお願い

所定の枠内に貴店名、住所、電話番号、お買上日をご記入の上、お客様にお渡し下さい。

漢字住所録 保証書

此の度は漢字住所録 YRM-16 をお買上げ頂きましてありがとうございました。本書は、裏面の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

〒 □□□-□□

おところ

(TEL)

おなまえ　　殿

型　　番	YRM-16	
お買上げ日	年　月　日	
保証期間	本体	お買上げの日から１ケ年間

販売店名	
修理申出先	
（名称）	
（住所）	
（電話）	

〒430 浜松市中沢町10番１号
0534－65－1111
日本楽器製造株式会社